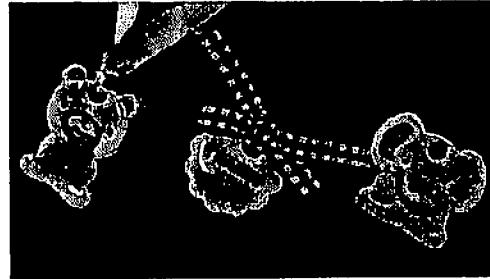


一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の推進と体制作り
～中学校区を単位とした小中連携のあり方～



令和元年8月27日(火)
印旛地区教育研究会 特別支援教育研究部
第一部会 志津・井野ブロック

佐倉市立志津中学校	石口由佳子
西志津中学校	田島 恵子
志津小学校	松田 美果
西志津小学校	須藤 恭子

1 研究主題

一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の推進と体制作り
～中学校区を単位とした小中連携のあり方～

2 主題設定の理由

佐倉市では、中学校区を大枠として地域を4つのブロックに分けている。これまで、合同学習会等の行事活動を小中交流の中心としてきたが、年々増える参加児童生徒数への対応から、より個への支援を充実させること、小集団での活動を深めることをねらい、野外学習会をブロックに分けて運営することとなった。志津・井野ブロックは、市の西部に位置し京成志津駅・ユーカーが丘駅を中心に広がっている。駅付近は商店や大型店舗、マンションが並び賑やかな地域だが、駅から離れた地域には「井野のつじぎり」が伝わる井野地区、熊野神社・上座公園周辺の自然豊かな志津地区、開拓の歴史のある下志津地区がある。古い歴史と新しい街並みを学区に持つため、各校の規模や特徴、児童の実態も様々である。

志津・井野ブロックでは、11月と1月、年2回の合同学習会を通して近隣校との交流を行ってきた。また、中学進学の際は、支援学級の体験入級を行ったり、小中連絡会で情報交換の機会を設けたりして、小中連携を図ってきた。しかし、最も規模の大きい志津中学校には、志津小学校・上志津小学校・井野小学校の3校から入学するため、各小学校からの情報内容が様々で一律に把握しづらく、入学した段階で一度本人の力を探らなくてはならない状況があった。また、小学校としては、中学校での普段の学習や生活の情報が少ないため、中学進学に向けてどのような力を育てる必要があるのか、児童・保護者に対してよりよい就学相談を行うにはどうすればよいのかなどの問題があった。これらの問題は志津中学校区に限らず、志津・井野ブロックの全学校に共通する課題であった。

そこで、志津中学校区では昨年度末の小中連絡会に向けて、支援学級に入級する児童についての「サポートシート」を作成し、3校が同じ形式で引継ぎ資料を作るようにした。また、井野ブロックでは、一昨年度から合同学習会の縦割りグループをできるだけ変更せず、2年連続で同じ児童生徒・同じ教職員で活動・支援するようしてきた。これらの取り組みから、今年度入学した生徒についてはこれまでより具体的な引継ぎをすることができた。西志津中学校では、今年度入級は西志津小学校からのみであったため、小学校が作成した資料を基に引継ぎを行った。どの中学校も、入学に向けて小学校側との引継ぎを重視し、中学校での生活や支援について具体的な話し合いをもつことができたため、入学後の支援をスムーズに行うことができた。

このように、教職員同士の連携をとることで、情報共有については改善されたが、児童が安心して進学できる対策が今年度の課題として残っている。今年度の志津中学校区の6学年児童にアンケートを取ってみると、中学入学を楽しみにしている一方で、知らない友達や先生との関わりに心配を抱える児童が多数いることがわかった。合同学習会で会ったことがあるはずの子も、名前や顔があいまいで、友達として認識するには関わりが薄いためでもある。西志津小学校から進学する児童からは、中学校でどんな学習をするかわからず不安であるという声もある。教職員側も、引継ぎを重視し、中学校生活の紹介が不足していたと考えられる。

これらのことから、次の点について、取り組むことで成果が上がると考える。一つ目は、ブロック単位の活動を充実させることである。せっかく合同学習会で仲良くなってもその後会う機会が少ないため、「友達ができた」という実感が薄くなってしまふ。学校同士は比較的近い場所にあるので、もっと積極的に交流の場を設け、児童生徒同士の関わりを深めていくことが可能である。

もう一つは、教職員同士の連携をさらに深めることである。ブロック単位で交流する場が増えると、教職員同士が会える機会が増える。また中学校区の情報交換が頻繁に行われればよりきめ細やかな支援にもつながる。近年、新任の特別支援学級担当の教職員が増えているものの、学校内に経験者がいないケースもある。近隣の学校との連携を深めることで、補い合えるものを補い、相談し合っていける関係作りをすることが、児童生徒へのよりよい支援につながっていくと考える。

以上のことから、教職員の立場でも児童生徒の立場でも、互いによく知ることが、安心への大きな一助となると考えられる。そのためには、ブロック単位での活動の良さを生かして小中連携を深め、教職員同士の交流や、児童生徒を知る機会を確保すること、一人一人が知り合う機会を増やすことで、中学校入学への移行や個の発達への支援をスムーズに進めることができるようになるのではないかと考える。志津・井野ブロックでは、互いの連携をブロックの重点課題と捉え、「志津・井野ブロック小中連携プロジェクト」として実践していくために、本主題を設定した。

3 研究仮説

仮説1 ブロック単位で交流する期間を長くすれば、活動内容を工夫しやすくなり、発達段階に応じた人間関係を養うことができるであろう。

ブロック単位であれば、地域の特徴でもある交通の利便性を生かし、交流する機会が増やしやすく、通常の日課の中でも継続的に交流活動を行うことが可能になる。活動内容は、志津中学校や西志津中学校の活動をもとに、小学校が関心をもっている内容を中学生が教える形にすることで、共同学習が可能になり、小学校の児童が中学校生活へのイメージを持ちやすくなるのではないかと考えている。さらに、継続的な関わりをもつことで、顔見知りの関係から、また会いたい友達へと関係が深まるのではないかと思ひ、この仮説をたてた。発達段階に応じたためあてとしては、

- ・低学年の児童にとっては、多くの児童生徒との関係が深まり、親しみがもてる。
- ・高学年の児童にとっては、中学校進学への不安が軽減され安心して生活できる。
- ・中学生にとっては、上級生としての自覚を深め、自信をもつことができる。

とした。どのためあても、短期間で達成できるものではなく、長期的な視野に立って実践することで、その場限りの活動から脱却できるのではないかと考える。地域の特性を生かし、交流を継続的に行うことでお互いをより良く知り、地域社会で生活していくことへの自信にもつなげていけるだろう。

仮説2 ブロック単位で交流する活動内容を工夫すれば、教職員同士の関わりが深まり、学校間の連携が取りやすくなって、児童生徒への適切な支援ができるであろう。

ブロックでの活動は児童生徒が集まりやすいだけでなく、教職員同士が集まる機会も増やしていくことができる利点がある。児童生徒達の交流会を開くためには、何度か打ち合わせ会を開くことが必要であり、教職員同士が直接話をする機会が格段に増える。経験年数や年齢にかかわらず、各学校の様子や特に配慮を要する児童への支援の相談等を取ることができる良い機会となると考えられる。

教職員は、ずっと関われるわけではなく、思いがけないタイミングでの異動もある。一人の教職員が負う責任は不透明である。児童生徒になるべく多くの人間が関わることで、児童生徒への理解は多面的に広がっていく。より良い支援を行う上で教職員同士の関係づくりや学校間の連携は、今後一層重要になると考えこの仮説を設定した。

児童生徒への適切な支援として、

- ・児童生徒の顔と名前が一致することで、行事の際に、一人一人にあった支援をすることができる。
- ・中学校入学時に児童を中学校教職員が理解していることで、児童や保護者の不安を軽減できると考えた。

4 研究計画

(1) 志津ブロック編

西志津中学校では、地域のバザーで毎年頒布会を行っている。また昨年度は西志津小学校も初めて校内頒布会を行った。そこで共通の実践である頒布会を「なかよしバザー」というブロック内の小中学校が参加する活動に広げ、年2回の縦割り班での活動を加え、計画実践した。

<令和元年度 志津ブロック 小中連携年間計画>

	児童・生徒の活動	教職員の活動	仮説との関わり
3月		小中連携打ち合わせ FAX 連絡	・小中連携プロジェクトとしての活動内容を話し合う。(仮説2)
4月	「なかよし交流会」 縦割り班での交流 (西志津小 9:00~10:00)	交流会打ち合わせ FAX 連絡	・縦割り班で楽しく遊び、班の友達の名前を知る。(仮説1) ・班の児童生徒の実態を把握する。(仮説2)
5月		FAX で日程調整 バザー打ち合わせ	・各学校の作業学習や生単の学習を情報交換し、なかよしバザーの活動内容を話し合う。(仮説2)
6月		バザーの詳細 FAX 連絡	・打ち合わせで決まったことや配慮事項などを伝達する。(仮説2)
7月	「なかよしバザー」 縦割り班での交流 (西志津小 9:00~10:30)	バザーの詳細 FAX 連絡 野外学習会下見	・バザーを通して、縦割り班の友達と交流を深める。(仮説1) ・交流会で得た情報をもとに、さらに児童生徒の様子を知ったり、支援をしたりする(仮説2)
9月	各学校間での交流(手紙)		・手紙のやりとりを通して、交流を深める。(仮説1)
10月	野外学習会に向けた計画 小6中学校体験	野外学習会打ち合わせ 小6児童の情報交換	・中学生が小学生にアンケートをとり、希望をもとに計画を立てる。(仮説1) ・配慮児童についての共通理解をもとに支援の計画を決める。(仮説2)
11月	小中合同野外学習会 「千葉市動物公園」 縦割り班での活動	野外学習会反省	・班の友達と再会し、交流を深めて活動を楽しむ。(仮説1) ・計画に基づいて支援する。(仮説2)

12月	合同学習発表会の準備	合同学習発表会 事前指導 野外学習会反省	・班の友達が見てくれることを楽しみに、自分の学校の準備をする。(仮説1)
1月	小中合同学習発表会 (頒布会)	合同学習発表会	・班の友達の発表を応援し、認め合う。 (仮説1) ・事前の打ち合わせによる配慮事項を踏まえ、計画を実行する。(仮説2)
2月	発表会の感想交換 (手紙のやり取り)		・互いの頑張りを認め合う。(仮説1) ・中学校入学に向けて、児童の情報を共有したり、小学校で入学準備を進めたりする。 (仮説2)
3月	小6児童・中3生徒 卒業のお祝い (手紙のやり取り等)	小6 中学校入学前 情報交換	・互いに卒業を祝う気持ちを育てる。(仮説1) ・卒業する児童の情報を小学校から提供する。 (仮説2)

(2) 井野ブロック編

今年度は、6月に「顔合わせ交流会」を開くことにした。交流会の内容には、志津中学校の作業学習で取り組んでいる陶芸を生かし、学習発表会の参加賞作りを入れることで年間の行事につながりをもてるようにした。

<令和元年度 井野ブロック 小中連携年間計画>

	児童・生徒の活動	教職員の活動	仮説との関わり
4月		交流会打ち合わせ	・より早い段階で教職員同士が会うことで、情報交換や相談ができる関係を作る。(仮説2)
5月	班編成 ビデオレター視聴	交流会打ち合わせ	・交流会に向け中学生が動画を制作。小学生は視聴し、当日の活動内容を知る。(仮説1) ・昨年度の班を基本として児童生徒の人間関係が継続する班編成を行う。(仮説2)
6月	小中合同顔合わせ交流会 (自己紹介・キーホルダー制作)	交流会反省	・班の仲間の顔・名前を覚える。助け合いながら共同制作を行う。(仮説1) ・班の児童生徒の様子や卒業児童の状況を知る。 (仮説2)
7月	キーホルダー加工 小中間での作品配達 中学校が頒布会の案内状を各校へ配布		・交流会後の手紙交換、作品の配達等を児童生徒が行い、相互の交流を深める。(仮説1) ・各小学校の卒業生を中心としたやりとりを通して、児童生徒の情報を共有しやすくする。 (仮説2)

8 月	中学校頒布会（志津まつり）	野外学習会下見	<ul style="list-style-type: none"> ・頒布会の取り組みを小学生に見せ、中学校の様子を伝える。（仮説1） ・合同で下見を行い、配慮の必要な児童生徒の共通理解をもとに計画をたてる。（仮説2）
9 月	小学校への作品配達 学校間での交流	野外学習会打ち 合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・作品配達の連絡・訪問を中学校生徒自ら行い、相互の交流を深める。（仮説1） ・打ち合わせを通して配慮の必要な児童生徒の共通理解を進め計画を練る。（仮説2）
10 月	野外学習会に向けた計画 活動希望アンケート実施 学習発表会参加賞製作開始 小6 中学校体験	野外学習会打ち 合わせ(配慮児童 生徒についての 情報交換含む) 小6 児童の情報 交換	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮児童生徒についての最終情報を基に共通理解をもって支援の計画を確認する。（仮説2） ・アンケートの実施や、参加賞製作において児童生徒が手紙・FAXによって連絡を取り合う。中学生には、役割を意識させる(仮説1)
11 月	小中合同野外学習会(班活動)	野外学習会反省	<ul style="list-style-type: none"> ・班の仲間と再会し、交流を深めて活動を楽しむ。（仮説1） ・最終調整を行った共通情報を基に、児童生徒の支援にあたる。（仮説2）
12 月	合同学習発表会のお知らせ・ 応援レター交換（手紙・ビデ オレター等）	合同学習発表会	<ul style="list-style-type: none"> ・応援レターを作成しながら1年間の班活動を振り返り、学習発表会で仲間との関係をより深められるようにする。（仮説1） ・児童生徒の活動を通して、教職員同士の共通理解を深める。（仮説2）
1 月	小中合同学習発表会 （参加賞の配布、頒布会）		<ul style="list-style-type: none"> ・班の仲間の発表を応援し、認め合う。（仮説1） ・事前の打ち合わせによる配慮事項を踏まえ、計画を実行する。（仮説2）
2 月			<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会のDVDを見て互いの頑張りを振り返る。（仮説1） ・小6 児童の情報を互いに共有するとともに、中学校入学への準備を進める。（仮説2）
3 月	小6 児童・中3 生徒 卒業の お祝い（手紙のやりとり等）	小6 中学校入学 前情報交換	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに卒業を祝う気持ちを育てる。（仮説1） ・卒業する児童の情報を小学校から提供する。（仮説2）

5 研究実践

(1) 志津ブロック編

4月23日「なかよし交流会」

① ねらい

- 7月の「なかよしバザー」に受け手の年間縦割り班の確認と顔合わせを行い、交流を図る。
- 「なかよしバザー」と11月の野外学習会に向けて活動の見通しをもつ。
- 教職員が児童生徒の実態を把握する。

② 手立て

- ・中学生が上級生としての自覚をもてるようにするために、中心となって会を進める。（仮説1）
- ・小学生が他校の友だちに親しみをもって関わられるようにするために、全体でできる遊びだけでなく縦割りの班に分かれて勝敗がなく楽しく遊ぶことができる遊びを行う。（仮説1）
- ・班の児童生徒の実態を把握し、必要に応じた支援を行うようにするために、教職員も縦割りの班に入る。（仮説2）

③ 活動の流れ

日時 令和元年4月23日（火）9:00～10:00

場所 西志津小学校 体育館

移動手段 南志津小はバス 上志津中と西志津中は徒歩

内容 1. はじめの会（全体）司会は上志津中

2. ブロック長の話

3. 班長の紹介

4. みんなで「かもつれっしゃ」

5. 縦割り班での活動（自己紹介・「空き缶積み」・「ボーリング」・「ばくだんゲーム」）

6. 終わりの会 司会は西志津中

留意点 ・遊びのルール説明は班長が行う。

・白い画用紙7×18cmに下の名前をひらがなで書いた名札をつける。



バスにて移動



はじめの会：中学生の進行



空き缶積みの様子

7月4日「なかよしバザー」

ねらい

- 各学校の活動について知り、親睦を深める。
- 縦割り班で活動を行い、活動の中で小中学生が交流を図り、11月の野外学習会の縦割り班活動につなげる。
- 教職員が児童生徒の実態把握を深める。

① 手立て

- ・小学生は中学校生活へのイメージをもちやすくするために、各学校の作品を持ち寄ることで紹介し合う。 (仮説1)
- ・買い物をしながらコミュニケーションを図れるようにするために、お客さんになって店を回る時は小学生と中学生や、高学年と低学年でペアを作る。 (仮説1)
- ・児童生徒の実態把握をするために、教職員も自分の学校のお店についたり、買い物の支援をしたりする。 (仮説2)

② 活動の流れ

日時 令和元年7月4日(木) 9:00~10:30

場所 西志津小学校 音楽室(3階)

内容 自分達が作った商品を持ち寄り、お客さんとお店屋さんに交代でなり、バザーを行う。その活動の中で、小中学生が交流する場を設ける。

・開店準備(役割分担・商品並べ他)

*お店は各校で担当し、自分達が作った商品を売る。

*商品は前半と後半で分けて、箱に並べてくる。

*値段は、事前に話し合い、個人の持参金の上限は300円とする。

(できたら、100円1枚、50円2枚、10円10枚だと便利)

*店の看板や装飾は、各校で行う。

・中学生がリーダーとなり、小学生の面倒を見る。

時程

9:00~9:10 集合・ブロック長の話 (10分)

9:10~9:20 開店準備・ミーティング (10分)

*前半店役と後半客役に分かれる。店役は各校で担当。客役は、中学生が小学生の面倒を見る。(前半A…1・3・4班 後半B…2・5・6班)

9:25~9:40 バザー①開始(Aが店、Bが客) (15分)

9:40~9:50 開店準備・ミーティング (10分)

9:50~10:05 バザー②開始(Aが客、Bが店) (15分)

10:05~10:15 片付け (10分)

10:15~10:25 振り返り(ブロック長) (10分)

10:30 解散

*売り上げは各校に還元し、次の活動費や教材費に充てる。



はじめの会(全体会)



お店屋さんの様子



小学生と中学生のペア活動

(2) 井野ブロック編

6月18日 井野ブロック 小中顔合わせ交流会

① ねらい

- 交流がより円滑に行われるよう、小中学生が互いに親近感をもてるようにする。
- 小学生は、中学校の「作業学習」を体験し、キーホルダー制作を通じて共同学習の機会を増やす。
- 中学生は、リーダーとしてよりよい活動の参加の仕方を考え、自信をもって行動できるようになる。
- 活動の綿密な打ち合わせを通して、教職員同士が関わる機会を増やす。また、児童生徒の様子を共有する。

② 手だて

- ・班の友だちとの親睦をより深められるようにするために、活動時期を早め、継続的な関わりを計画する。 (仮説1)
- ・小学生が中学校のイメージを持ちやすくするために、中学校の授業で行われている「作業学習」を体験する。 (仮説1)
- ・中学生のリーダーシップを養うために、自信をもって教えることのできる陶芸を活動に取り入れる。 (仮説1)
- ・児童生徒によりよい支援をするために、年度当初から教職員が会う機会を増やし、情報交換をやすくする。 (仮説2)

③ 活動の流れ

(ア) 事前の学習活動

- ・班の構成員の発表
- ・参加5校で分担した活動の準備 (※各校の役割は下枠【 】を参照)
- ・陶器のキーホルダーのつくり方の事前学習動画 (志津中作成) を各小学校で視聴。

(イ) 当日の活動

【開催日時】 令和元年6月18日 / 9時半～11時 【活動場所】 小竹小学校地域学習室

【日 程】	
09:30	① はじまりの会【小竹小学校】
09:40	② アイスプレイング「遠足へ行こうよ」【上志津小学校】
09:50	③ 班別自己紹介【志津小学校】
10:10	④ キーホルダー制作【志津中学校】
11:00	⑤ おわりの会【井野小学校】

※資料編参照

(ウ) 事後の活動

活動④のキーホルダーは陶器のため、数日各校で乾燥させ、表面をやすりがけして整えた後、中学校の窯で素焼し、さらに釉掛け・本焼きを行う。児童生徒が当事者意識をもてるよう、小学校から中学校への作品の配達や配達に関わる連絡は、代表児童生徒がFAXで行うようにした。児童が中学校に直接持参できない場合は、お礼の手紙を添えるなど各校で工夫した。すでに中学校で本焼きまで完了した1校については、1学期中に卒業生が訪問し、児童の作品を届けた。交流をきっかけにして、学級だよりや頒布会やイベントのチラシ等をブロックで交換し、各学級の活動を広めていく試みも行われた。さらに、2学期は交流会以降の作品作りの経験を活かし、来年1月の合同学習発表会に向けて参加賞(2種400個程度)の製作を開始する計画である。



班ごとに自己紹介



班でキーホルダーづくり



中学生に教わる小学生

6 結果と考察

(1) 仮説の検証

①志津ブロック

仮説1においては、バザーの前の交流会やなかよしバザーを経験することで、縦割り班のメンバーの顔と名前を覚え、親しみを感じ野外学習会を楽しみにする児童生徒が増えている。中学生は、小学生のお世話をする中で中学生としての自覚が高まり、自信がついたことや野外学習会での班長としてのやる気も高まったなどの感想が聞かれ、野外学習会への期待が高まりつつある。今後の活動を通して、発達段階に応じた人間関係を養っていくことができるのではないかと。

仮説2においては、教職員の立場からも児童の顔や名前、様子を知ることができた。中学校入学時の対応に役立つのではないかとという声が聞かれた。またバザーでは、普段はなかなか知ることができない他校の活動内容がわかったので、とても参考になり情報交換の機会にもなった。毎年継続していきたいという声も聞かれ、今後の児童生徒への適切な支援を行うために役に立ちそうである。

②井野ブロック

仮説1については、6月に交流会を設定したことで、年度の初めから児童生徒同士が関わることができた。特に5月に中学校から小学校へ送られたビデオレターでは生徒の声で児童へ直接呼びかけることができたため、児童の気持ちを高めるよいつかみとなった。今年の特別支援学級の年間行事に対しての意欲や意識が高まる機会となったように感じる。さらに、夏休み前に中学校とやりとりをすることで6年生児童にとっては中学校を意識する良いきっかけとなった。

仮説2についても、3月から打ち合わせの機会を確保してきたことで、教員同士が直接話をする機会が格段に増えた。特に4・5月には入学した中1生徒の情報を共有できたことで、その時々に必要な相談を進めることができた。また、小学校同士も早い段階で行事を進めることで、ブロックとしての連携体制を築くことができた。実際に、今年度は野外学習会の下見のあとに、そのまま時間をとって話し合い、ある程度の計画をみんなで立てていこうという流れが自然と生まれていた。そのため、各学校の個のニーズに配慮した移動手段、時間設定、活動設定を相談することができ、はじめから各校のどの児童にも配慮した計画を立てることができた。ブロック単位での連携体制を継続することで、今後も児童生徒への適切な支援につながっていくことができるだろう。

(2) 今後の展望

今回の発表は、今年度の新しく始めた活動の中間発表であるので、今後の展望について述べる。

①小中合同野外学習会について

・志津ブロック

11月の野外学習会では、千葉市動物公園で、縦割り班で動物を見て回ったり、ふれあったりする活動を予定している。なかよし交流会となかよしバザーで関わった友だちと行動を共にするので、安心して活動できる児童生徒が多いのではないかと。中学生は、顔や名前、ある程度の性格などもわかる小学生が班に多ければ、班長として掌握がしやすいので、充実した時間をもつことができるだろう。

・井野ブロック

11月に、カンドゥー（千葉市）で職業体験を行う計画である。当日に向け、中学生がリーダーとなり班活動の計画を立てる。中学生が、小学生の活動希望をアンケートの形で調査し、それをもとに計画を進めていく。班の固定化を行って3年目、また6月にも1回会っていることから、児童生徒によっては班の友だち個人へ宛てた手紙を書いたりすることも可能である。またアンケートや計画した内容をFAXで何度か行き来したり、楽しみにしていることをメッセージにして小中学校で送り合ったりすることもできる。児童生徒の関係が深まるよう働きかけを考えている。

また、担任も下見の段階から合同で行い、計画もその場である程度立案した。大まかな配慮、児童・生徒についての情報交換も初めから各校の担任が交えて行うことで、計画段階から個のニーズに合わせた活動設定ができるようになった。当日までそれぞれがその時々をの情報を更新しながら、共通理解を進められるよう、打ち合わせの機会を充実させていきたい。

(2) 小中合同学習発表会について

小中合同野外学習会にて、より親しみをもった友だちの発表を見ることで、互いに励ましたり認め合ったりすることがしやすくなるだろう。可能であれば、交流会での経験を生かして、事前に各学校でビデオレターや班の友だち宛の手紙をつくり、それらのやりとりを通して各学校の発表をより楽しみにしたり応援したりする心を育てていきたい。

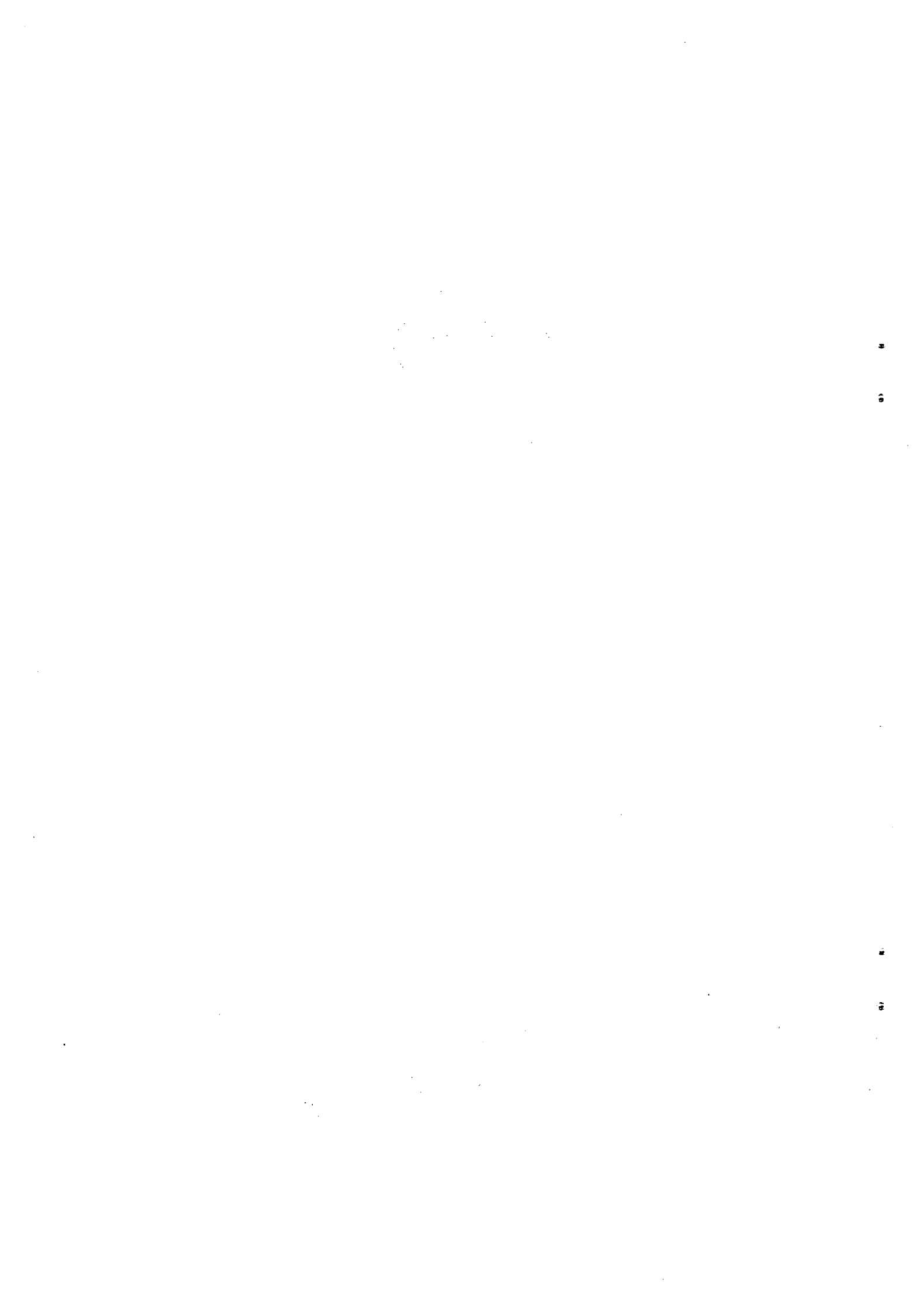
活動場所が確保できれば当日中学校の頒布会を開催することが毎年議題に上がっている。今年度は、志津ブロックで取り組んだ「なかよしバザー」が好評だったこともあり、気運が高まっている。実現した際には、志津ブロックと井野ブロック、さらに臼井ブロックとの交流を深める機会となり、小学生がより中学校の活動に関心をもつことができるだろう。

(3) まとめ

どちらのブロックでも、ブロック単位で活動をすることによって交流する機会を増やすことができた。それによって、児童生徒同士の関係が築かれつつあり、互いに親しみをもつことができた。また、活動内容も中学校の活動を元に交流の内容を決めたことで、中学校での活動の一端を知ることができ、進学への不安の軽減につながった。

また教員の立場からもブロック単位の活動によって、打ち合わせ会などで直接話をしたり、FAXや電話等のやり取りをしたりする機会が増え、関わりが深まった。小中連携の活動についての話し合いだけでなく、学校の児童生徒や活動の様子についての情報交換や相談もしやすくなった。このことは、今後児童生徒へのよりよい支援につながっていくだろう。

資料編



志津ブロック「なかよし交流会」の感想

なかよしこういゆう会のかんそう

ほくかた+かたふり大会
で一番よくたこしはたこま
のゲームでたか
かみんたでみ上げで
11くのがおもしろかったです

(志津) 学校 名前

なかよしこういゆう会のかんそう

ぼくはチーム(まは)で
はた(たり)して(ま)次に(ま)か
ま(ま)した(ま)い(ま)も(ま)し
西志津中のあそび(ま)り
右(ま)は(ま)よく(ま)ち(ま)ま(ま)

(西志津) 学校 名前

い
た
ま

なかよしこういゆう会のかんそう

目をぐるましくしてよかったです
甲子園大会(ま)のなかよし(ま)会(ま)し(ま)
で(ま)ま(ま)入(ま)り(ま)の(ま)ま(ま)ち(ま)に(ま)会(ま)して(ま)
ア(ま) 小(ま)学(ま)の(ま)人(ま)と(ま)中(ま)よ(ま)く(ま)ア(ま)と(ま)く(ま)に(ま)小(ま)学(ま)
の(ま)人(ま)と(ま)を(ま)見(ま)て(ま)い(ま)て(ま)お(ま)し(ま)ろ(ま)う(ま)た(ま)です

(志津) 学校 名前

なかよしこういゆう会のかんそう

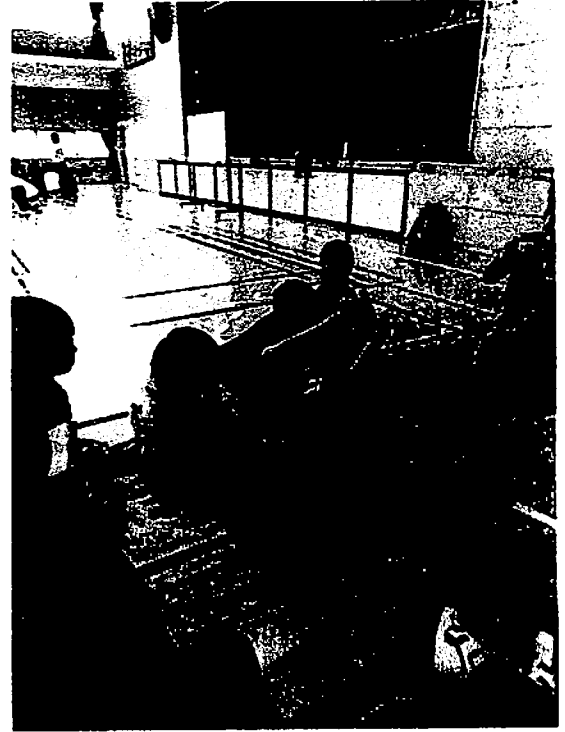
かみ(ま)くれ(ま)し(ま)か(ま)ん(ま)み(ま)の(ま)
ホ(ま)ー(ま)リ(ま)ン(ま)ぐ(ま)た(ま)の(ま)し(ま)か(ま)
た(ま)で(ま)す(ま)て(ま)い(ま)も(ま)
友(ま)だ(ま)ち(ま)が(ま)で(ま)ま(ま)い(ま)も(ま)

(志津) 学校 名前

かもつれっしや



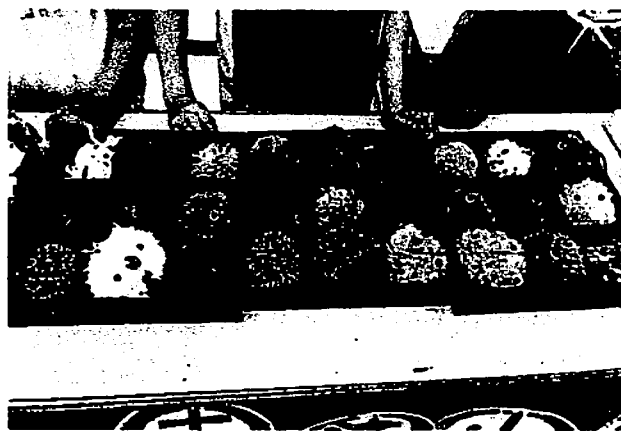
空き缶積み→



志津ブロック「なかよしバザー」の作品



下志津小学校 プラ板のキーホルダー 30円



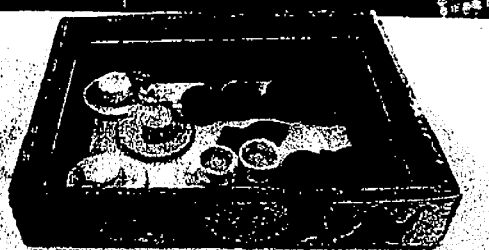
西志津小学校 スマイルスーモ 50円



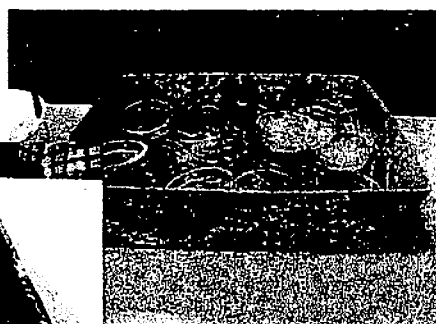
南志津小学校
紙コップロケット
50円



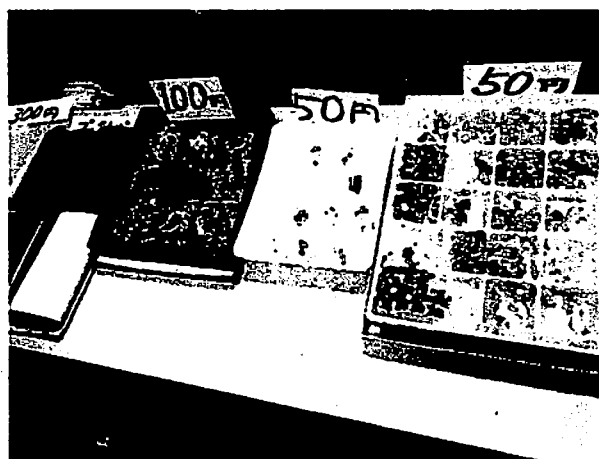
自分人形 50円



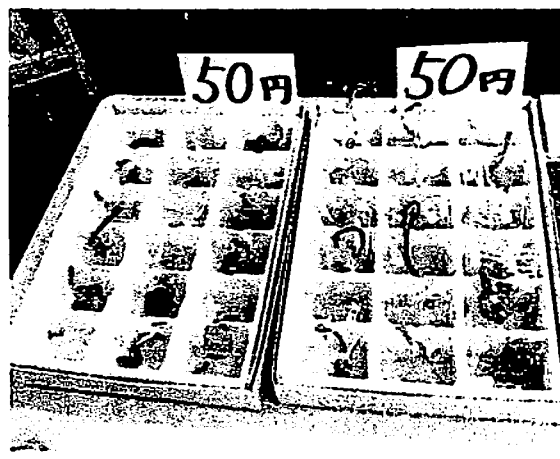
ペットボトルキャップの小物入れ・ブローチ 100円



香り付きスライム 50円
紙のお花 10円



西志津中学校 ビーズの指輪 50円 ビーズのブレスレット 50円・100円

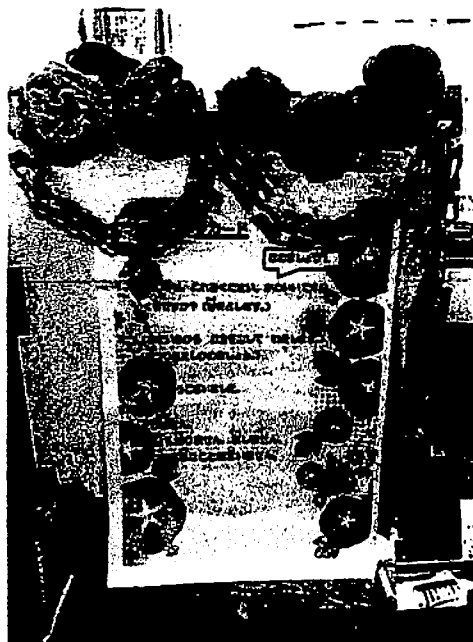


UVレジンキーホルダー 50円 革製のブックカバー 300円

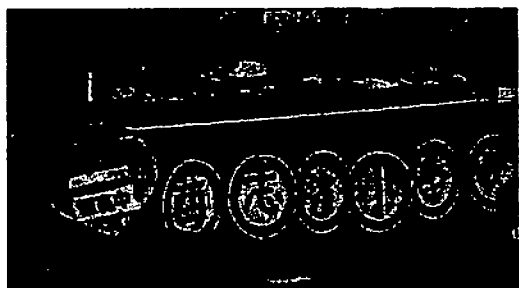
お店の看板



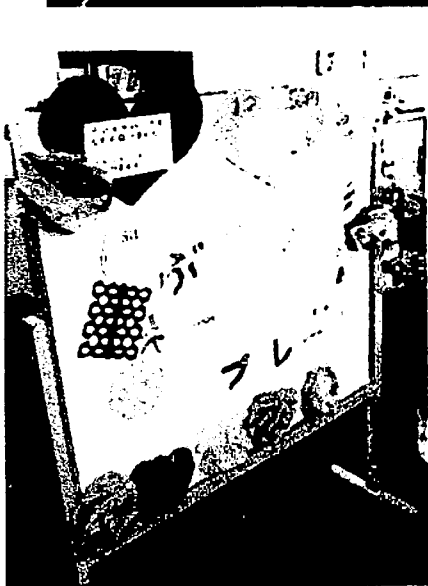
下志津小学校



品物を買う時
の言葉と約束
を掲示



西志津小学校

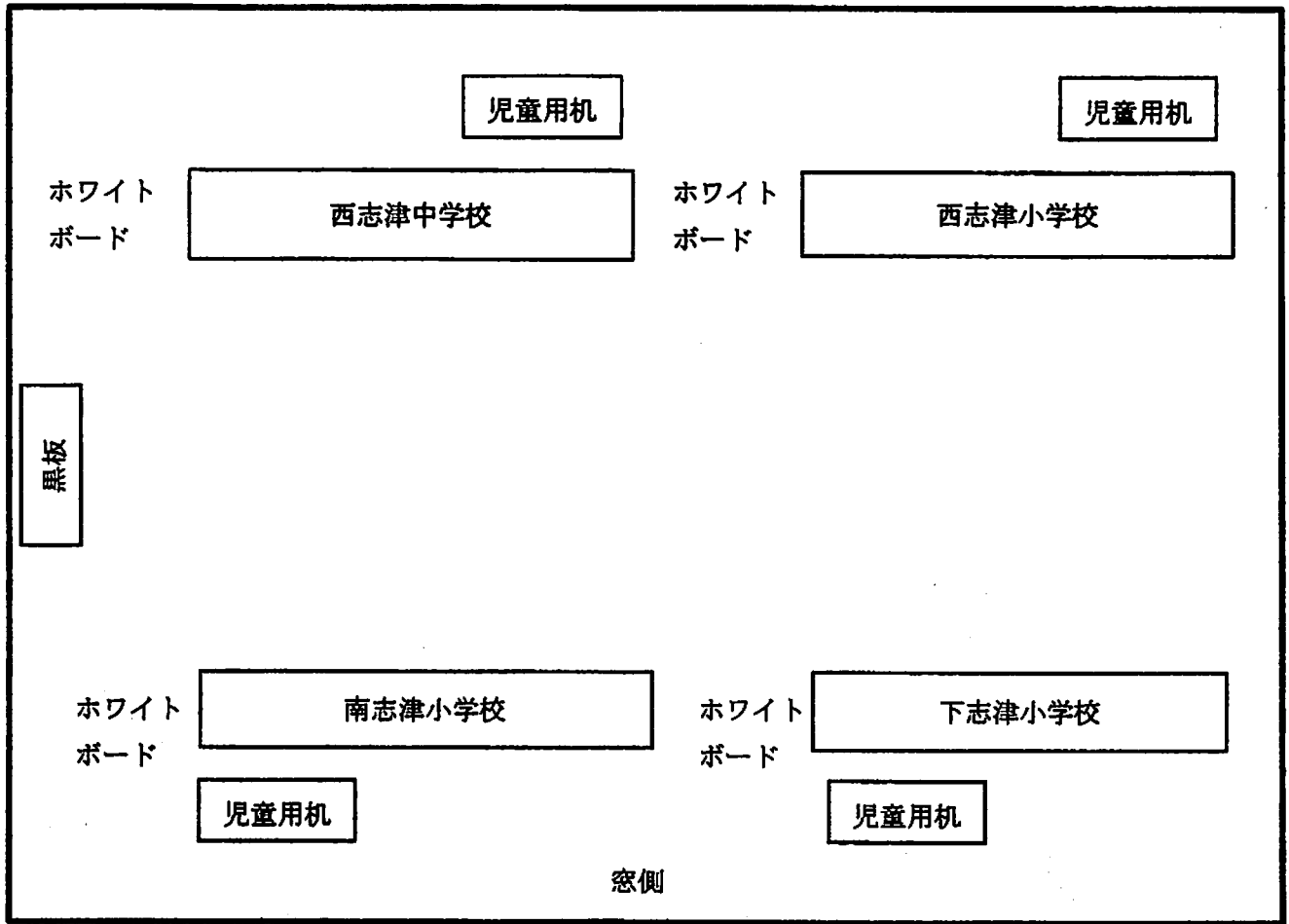


西志津中学校



南志津小学校

なかよしバザー 場の設定
場所：西志津小学校 3階音楽室



なかよしバザーの思い出をいれよう

西志津中

名前

①バザーでなにを買いましたか。

スライム、アレスレット、くまのぬいぐるみ

- ②ほかのみんなのともだちと何かよくお話ができましたか。 ○ △
- ③おみやげやさんのお品 USAのやつが売って良かったですか。 ○ △
- ④おみやげやさんのお品 お金を払くはらって 買うことができましたか。 ○ △
- ⑤なかよしバザーのしりとりが楽しかったですか。 ○ △
- ⑥なかよしバザーをして おもしろいことを教えてください。

この学校の商品が売れました
が、
おみやげやさんで木の箱の飾り物を買って
おみやげを分けてあげました
また、なかよしバザーを
楽しかったです。

なかよしバザーの思い出をいれよう

西志津中

名前

①バザーでなにを買いましたか。

花びん、スライム、アレスレット、
くまのぬいぐるみ、
買った。

- ②ほかのみんなのともだちと何かよくお話ができましたか。 ○ △
- ③おみやげやさんのお品 USAのやつが売って良かったですか。 ○ △
- ④おみやげやさんのお品 お金を払くはらって 買うことができましたか。 ○ △
- ⑤なかよしバザーのしりとりが楽しかったですか。 ○ △
- ⑥なかよしバザーをして おもしろいことを教えてください。

おみやげやさんで買った
スライム、アレスレット、
くまのぬいぐるみ、
買った。
おもしろいことを
教えてください。

令和元年6月17日

平成31年4月4日

志津ブロック特別支援学級設置校校長 様

志津地区ブロック長 須藤 恭子

志津ブロック小中連携プロジェクト
「みんなであそぼう会」の開催について

志津ブロックでは、小中連携を推進するために、年3回の縦割りでの活動を計画しました。第1回は4月の「みんなであそぼう会」、第2回は7月の「なかよしバザー（仮称）」、第3回は11月の「野外学習会」です。

第1回の「みんなであそぼう会」につきまして、下記のとおり開催いたしますので、貴校職員及び児童の出席につきまして、ご配慮くださいますようお願いいたします。

記

- 日時 平成31年4月23日（火）午前10時30分～11時20分
- 場所 佐倉市立西志津小学校 体育館
〒285-0845
佐倉市西志津7丁目2番1号
043-489-5835
- 内容 (1) 小中連携プロジェクト7月の「なかよしバザー（仮称）」に向けての年間縦割り班の確認と組み合わせを行い、交流を図る。
(2) 「なかよしバザー（仮称）」と11月の「野外学習会」に向けて、今後の活動の見通しをもつ。

*不明な点に関しましては、佐倉市立西志津小学校043（489）5835 須藤までご連絡ください。

佐倉市志津ブロック
特別支援学級設置小・中学校長 様

佐倉市特別支援教育理事 西志津小学校校長 川尻 高志
志津地区ブロック長 須藤 恭子

なかよしバザーの開催について

このことについて、下記のとおり開催いたしますので、貴校関係職員（特別支援学級担任・通級指導教室担当者・特別支援教育支援員）及び児童・生徒の参加につきまして、ご配慮くださいますようお願いいたします。

記

- 日時 令和元年7月4日（木）（雨天実施）
午前9時から午前10時30分まで
- 会場 西志津小学校 多目的室（プレハブ校舎1階）
- 目的 ①自分たちが作った作品を持ち寄り、お店屋さんとお客さんに交代でなり、バザーを行う。
②グループで活動を行い、活動の中で、小中学生が交流を図り、11月の野外学習会のグループ活動につなげる。
③教員が児童生徒の実態を把握し、理解を深める。
- 日程および活動内容
9:00～9:10 集合・先生の話
9:10～9:20 開店準備・ミーティング
9:25～9:40 バザー①
9:40～9:50 開店準備・ミーティング
9:50～10:05 バザー②
10:05～10:15 片付け
10:15～10:25 振り返り
10:30 解散
- 参加校 南志津小学校・上志津中学校・西志津中学校・西志津小学校

担当 西志津小学校 須藤 恭子
電話 043-489-5835

井野ブロック「顔合わせ交流会」細案

令和元年5月8日

志津中学校

井野ブロック顔合わせ会（6月18日）キーホルダーづくり実施計画

1 時間 小竹小学校体育館 9時半～11時00分（制作 10時00分～1時間）

2 活動の方向性の確認

・全体の目的

◎・キーホルダーの共同製作を通じて小中学生が連帯感を持って活動できる。

・本時の目標

小学生：キーホルダーづくりの工程を理解する。

中学生：小学生へキーホルダーづくりの技術をわかりやすく教えられる。

3 展開

10:00	会場準備	班隊形に集合 ※各班、中学校生徒2～3名・職員1名配置	中学生・職員は長机（各班3台）をコの字型に配置。
10:05	導入	活動目標の提示 通年：学習発表会の記念品をみんなでつくろう 本時：キーホルダーの作り方を覚えよう 自分のための作品をつくろう	中学校の作業学習・製品完成までの工程は、事前に各校で動画視聴。
10:15	製作	①練り 粘土（100g／組）を牛乳パックの上で捏ねる。 固い場合、適宜水入れから水を足す。 ②延ばし 画板の上に5mmのたたらを2本敷き、延し棒で延す。2人組で交代に行う。 ③型抜き 抜き型で1人2枚抜く。 ④穴あけ ストローでストラップを通す穴をあける。 ⑤細工 楊枝で模様や印を書き込む。工程⑤が完了した製品は学校ごとに容器へ収納する。 早く終了した児童のみ工程⑥へ ⑥乾燥後の製品の削り（見本品使用） 紙やすりや楊枝で角や穴を滑らかにする。	各組で進行。 中学生・職員は作業台に道具を配置し、粘土板、牛乳パックを養生テープで長机に固定。 用意するもの 〈志津中〉下線の道具 〈小竹小〉長机、画板10枚、清掃用具 〈個人〉10紙パック、雑巾 〈各校〉雑巾（予備）、新聞3日分、持ち帰り用容器、画板2枚、抜き型※（4×5cm以内※） ※丸みのある一辺3cm程度の型がよい。 製品は各小学校で乾燥させた後、工程⑥を行い、中学校へ届ける。
10:45	後片付け	手を洗う。 机と床を掃く。道具・机を濡れ雑巾で拭く。	箒、ちり取り、バケツ
11:00	終了		

井野ブロック「顔合わせ交流会」連絡事項

(志津中学校より)

6月18日 顔合わせ会の道具について 志津中学校

☆抜き型について

各校で複数個、用意してください。

周囲の長さ：15cm（親指と中指をつなげた輪のなかにはいる大きさ）程度。

※大きいと落下した際に割れます。

☆キーホルダーの裏に名前をかきます。

楊枝で書くことができますが、クッキー用の文字スタンプで押したほうが綺麗です。

力加減が難しい児童には、スタンプをおすすめします。100円均一で買えます。

☆画板の枚数の変更

人数が9名以上の学校は3枚。それ以下の学校は2枚でお願いします。

養生テープで机にはりつけ、その上で、延し棒で延ばします。

はさみ、養生テープ等を各校でご持参いただけると助かります。

その他の持ち物については現時点で変更ありません。

井野ブロック「顔合わせ交流会」製作資料

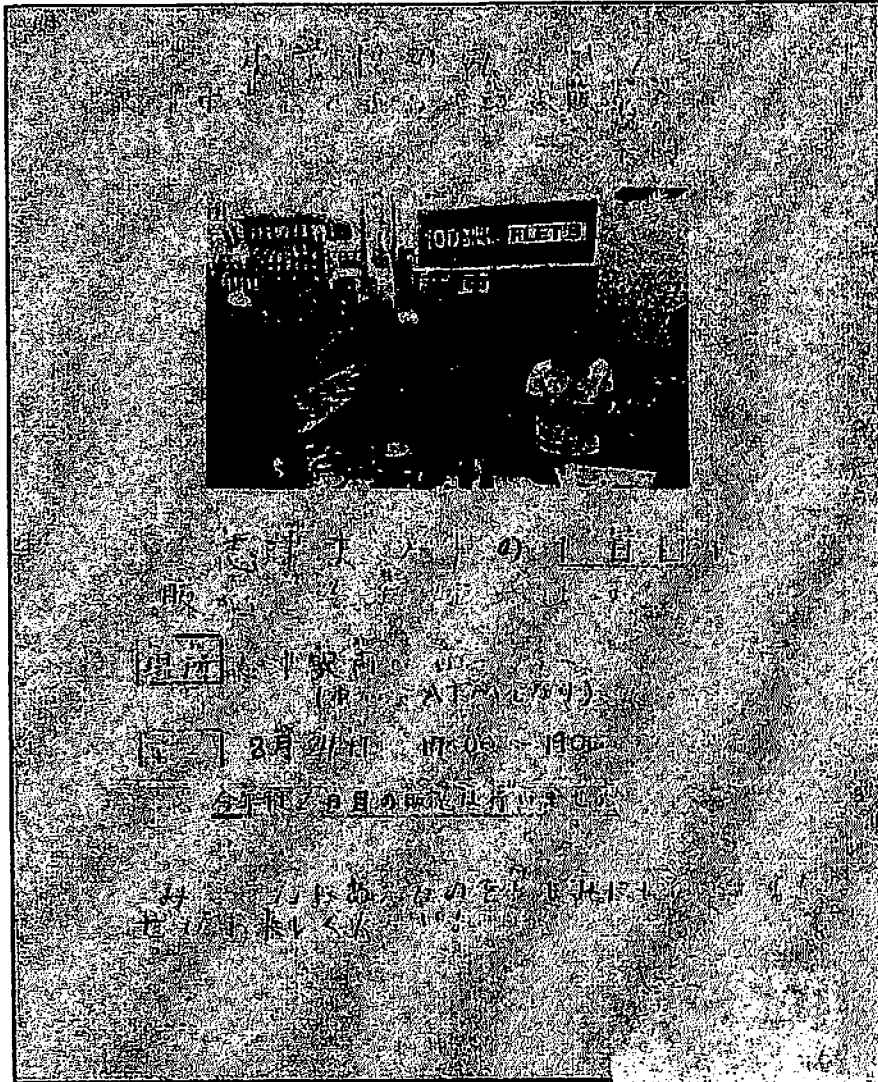


井野ブロック「顔合わせ交流会」事後の活動

毎年8月に開催される中学校頒布会のちらし

今年度初めてブロックの小学校へちらし配布を行った。

一部の小学校へは交流会の作品の配達に合わせて中学生が訪問し、教室で宣伝する機会を作った。



志津中学校で頒布している製品

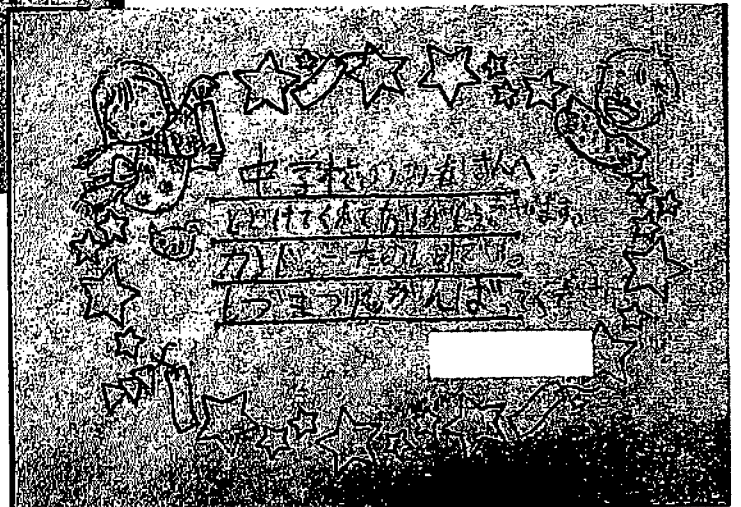
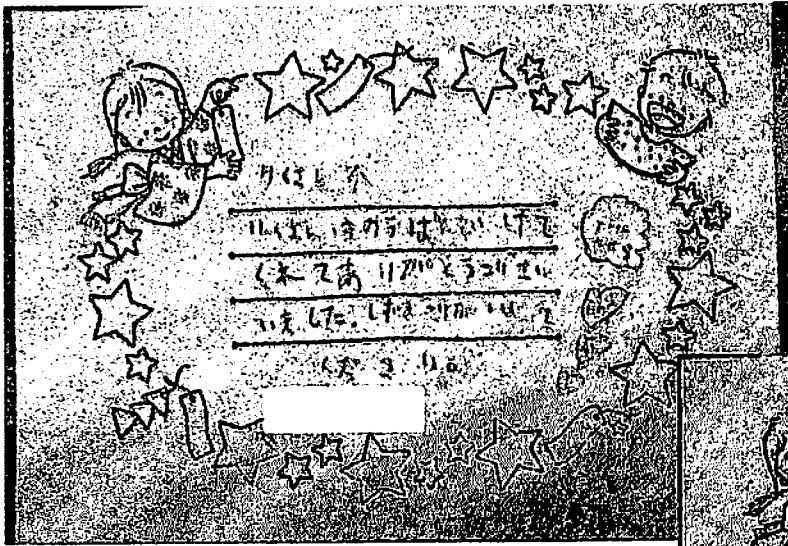
週6時間程度「作業学習」で陶芸を実施。

志津中で実施する小6体験では、児童が作業学習の体験を希望することが多い。

近年は、小中合同学習発表会の参加賞製作も行っている。



小学生から中学生への手紙



中学校のみなさま6月18日に11
 3113やさしくおしえてくださ
 りありがとうございました。
 楽しかったです。11月の野外学習
 会が楽しかったです。11月18日
 11月18日
 [Redacted]

11月18日
 11月18日
 11月18日
 11月18日
 11月18日
 [Redacted]

キーホルダーの受け渡し

① 中学生からのFAX

ファクシミリ送付票	
送付年月日	2019年7月2日
宛先	佐倉市立舟野小学校 特別支援学級担任等 佐倉市立上総小学校 特別支援学級担任等 佐倉市立弘徳小学校 特別支援学級担任等 佐倉市立小竹小学校 特別支援学級担任等
件名	粘土細工の送付について
返信(○をつける)	返信あり <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/>
枚数	送付票を含めて 2枚
送付先	佐倉市立志保中学校
担当者	生徒代表 責任教師 松本 良樹
電話番号	電話 043-487-6811 FAX 043-462-4892
<p><連絡事項></p> <p>各小学校の児童のみならず、お元気ですか。 6月18日の顔合わせでは、たいへんお返事は遅くなり申し訳ありませんでした。 小学生のみならず、いっしょにけんめい作ってくれて下さりありがとうございました。 さて、みなさんの作品も志保中学校で展示し、本展覧会もします そこで志保中学校へ持ってきてくれる日と方法を教えてください (別紙にて)</p> <p>7月5日(金)までに教えていただくように よろしくお願ひします。</p>	

② 受け渡し当日の様子

